

(傍聴資料)

令和8年竹田市議会第2回定例会

一般質問事項

令和8年6月5日

竹田市議会

一 般 質 問 の 日 程

6月5日(金)

| 順番 | 議席 | 議員氏名 | 会派・党派 |
|----|-----|-----------|---------|
| 1 | 4番 | 賀籠六めぐみ 議員 | 創生会 |
| 2 | 9番 | 後藤 建一 議員 | 創生会 |
| 3 | 2番 | 副田 富雄 議員 | 無会派・公明党 |
| 4 | 13番 | 山村 英治 議員 | 無会派 |
| 5 | 12番 | 佐藤 美樹 議員 | 創生会 |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月5日（金）】

質問順位 1 番

議席番号 4 番 賀籠六 めぐみ 議員（創生会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----------------------------------|---|-----|
| <p>1. 竹田市民間賃貸住宅建設促進事業補助金について</p> | <p>(1) 補助金について ア. この補助金の目的は何か。</p> <p>イ. この補助金要件について、十分な説明がなされているか。また、補助金交付にあたってこれまで問題や課題はなかったか。</p> <p>ウ. 補助金交付に関して、サービスの低下を招かないように、フローチャートなどの作成が必要ではないか。</p> <p>(2) 住宅建築後のごみの収集について ア. 現在、集合住宅におけるごみの定期収集は10戸以上となっている。本市が10戸以上と定めた根拠は何か。</p> <p>イ. 人口減少に伴い、10戸以下の集合住宅の建築も多くなると想定される。10戸以下に改めることはできないのか。</p> | |
| <p>2. 不登校やいきしぶりについて</p> | <p>(1) 現状について ア. 不登校やいきしぶり傾向の児童・生徒について現状をどう把握しているか。</p> <p>(2) 家庭との連携について ア. 学校との連絡手段やコミュニケーションの方法、実際に関わる担当職員については、各家庭で状況が違うが、各家庭の状況や希望に合わせたものになっているか。</p> <p>イ. 学校評価のアンケートの内容について、保護者にとって負担になる内容になっている。工夫することはできないのか。</p> <p>(3) 健康診断について ア. 健康診断の受診について、現状はどのようになっているか。また、未受診者がいれば、その対応はどうなっているか。他課と教育委員会で連携はしているか。</p> <p>(4) 教育支援センターさふらんについて ア. さふらのあり方については、支援教室が中心であるが、保護者が気軽に集まれるような工夫はされているか。</p> <p>イ. 保護者が定期的集まる場所の提供はできないか。また、ICTなどを活用し、児童・生徒を支える保護者自身が孤立しないような取組を進めるべきではないか。</p> <p>ウ. 保護者が働いている場合、所属する事業所の事業主や同僚に不登校を理解してもらい協力をしてもらうようなアプローチが必要だと考える。そのような取組ができないか。</p> | |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月5日（金）】

質問順位 2 番

議席番号 9番 後藤 建一 議員（創生会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--------------------------|--|-----|
| 1. 特定外来生物オオキンケイギクの根絶について | <p>(1) 特定外来生物オオキンケイギクについて</p> <p>ア. 特定外来生物のオオキンケイギクの生育状況について、現状を伺う。</p> <p>イ. オオキンケイギクの根絶にむけてどのような取組を行っているか伺う。</p> | |
| 2. カスタマーハラスメントについて | <p>(1) カスタマーハラスメントの現状と課題について</p> <p>ア. 最近、マスコミ等でカスタマーハラスメントの事が取り上げられている。市役所の現状を伺う。</p> <p>イ. カスハラ課題に対する対策はどう行うのか伺う。</p> | |
| 3. 防犯対策について | <p>(1) 市内の幼稚園、小学校、中学校の防犯カメラ設置について</p> <p>ア. 令和8年4月末現在、市内の幼稚園、小学校、中学校の防犯カメラ設置の状況を伺う。</p> <p>イ. 各学校に聞き取り調査をした結果、設置されてない学校は、全て設置を希望する。設置されていても増設をしてほしい。この状況をどのように解決するのか伺う。</p> <p>(2) 竹田市長期総合教育計画</p> <p>ア. 主要政策の中に防犯対策を組み入れてはどうかを伺う。</p> | |
| 4. 久住高原農業高校学生寮について | <p>(1) 生徒の食事について</p> <p>ア. 学生寮で出される食事について、令和5年11月から標準的な高校生が必要するカロリー量等に変更を行っているが、現状を伺う。</p> <p>イ. 欠食する生徒がいるとは思いますが、現状とその対策を伺う。</p> <p>ウ. 物価高の中、給食費、寮費の今後について市の取組方を伺う。</p> <p>(2) 生徒の健康管理について</p> <p>ア. 体調が悪くなった生徒の対応を伺う。</p> | |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月5日（金）】

質問順位 3 番

議席番号 2番 副田 富雄 議員（公明党）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|-----------------------|---|-----|
| 1. 放置竹林について | (1) 放置竹林の現状と対策について ア. 本市としての現状はどうか。 イ. どのような対策事業に取り組んでいるのか。 ウ. 対策事業に対して補助制度はあるか。 | |
| 2. 障がい者への合理的配慮の提供について | (1) 竹田市における障がい者への合理的配慮の提供について ア. 本市における合理的配慮の提供についての取組は。 イ. 窓口に軟骨伝導集音器の設置をしてはどうか。 | |
| 3. 市民後見人制度について | (1) 市民後見人制度の活用促進と成年後見人等送付先住所変更の一括手続きについて ア. 本市における成年後見人制度及び市民後見人制度の直近数年間の利用者数と、その今後の見通しは。 イ. 成年後見人等が各種通知等の送付先変更を一括して登録、変更できる仕組みの導入について、本市はどのように課題を認識しているのか。 ウ. 導入に向けた具体的な検討状況及び実施時期の見通しについて。 エ. 市民後見人制度の活用促進に向けた市の取組状況と今度の方針について。 | |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月5日（金）】

質問順位 4 番

議席番号 13番 山村 英治 議員（無会派）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--|---|-----|
| <p>1. 竹田市の農畜産業に対する戦略的な取組について</p> <p>2. 竹田市のクリスタンの歴史と遺跡について</p> | <p>(1) 畜産業について</p> <p>ア. 畜産業（和牛）をとりまく現状について、どのように分析をしているのか。</p> <p>イ. 畜産業の未来について、本市はどのように考えているのか。</p> <p>ウ. 担い手の高齢化が進んでいる中で、畜産業をどのように振興していくのか、本市としての考えを問う。</p> <p>(2) 高冷地野菜生産の振興について</p> <p>ア. 高冷地野菜の生産の現状について、どのように分析をしているのか。</p> <p>イ. 高冷地野菜生産の振興について、どのように進めていくか。</p> <p>ウ. 高冷地野菜生産の振興をするうえで、今後はスマート農業や先端技術の導入が必要と考えるが、振興策はあるか。</p> <p>(3) 農畜産業に対する本市の戦略的取組について</p> <p>ア. 農畜産物は世界規模での物流が展開している状況で本市の戦略的構想は。</p> <p>(1) クリスタンの歴史や遺跡について</p> <p>ア. 竹田市のクリスタンの歴史、遺跡はどのようなものがあるのか。</p> <p>イ. 裏付けについてはどのような資料でおこなっているのか。</p> <p>ウ. 今後、クリスタンの歴史や遺跡を文化遺産としてどのように展開していくのか。</p> | |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月5日（金）】

質問順位 5 番

議席番号 12番 佐藤 美樹 議員（創生会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|------------------------------|--|-----|
| <p>1. 鳥獣害対策としてのジビエ活用について</p> | <p>(1) 学校給食でのジビエ利用について ア. 竹田市では以前ジビエ給食を出した実績がある。現在は行っていない理由は何か。 イ. 大分県はジビエ給食を促進する方針を示し、実施自治体に補助金を出している。これを活用し竹田市でもジビエ給食に取り組んではどうか。</p> <p>(2) 解体処理施設整備について ア. 現存の施設の存続について承継支援などの考えはあるか。また、今後、施設の整備・拡充は必要と考えるか。</p> | |
| <p>2. 公用車の管理について</p> | <p>(1) 公用車の適正台数と管理について ア. 本市が保有する公用車の総台数と、用途別・所属別の概要は。 イ. 稼働率や利用実態を踏まえ、公用車の適正台数についてどのように考えているか。 ウ. 公用車（消防車・救急車・バスを除く）の購入及び車検・整備を行う事業者の選定方法と契約基準は。また、公平性・透明性はどのように担保されているか。</p> | |
| <p>3. スクールバスの管理と活用について</p> | <p>(1) スクールバスの現状について ア. 現在、市所有のスクールバスは何台あるか。また年間の維持管理費はいくらか。 イ. 安全管理の取組は。</p> <p>(2) 市内高校の通学支援について ア. 豊後高田市は高校生のバス通学支援制度を実施している。竹田市の高校通学支援に対する考えは。 イ. 国土交通省及び文部科学省は、スクールバスと地域公共交通の連携・混乗・共同活用の方向性を示している。中学校のスクールバスに高校生の混乗利用を行い通学支援を行ってはどうか。</p> | |

(傍聴資料)

令和8年竹田市議会第2回定例会

一般質問事項

令和8年6月8日

竹田市議会

一 般 質 問 の 日 程

6月8日(月)

| 順番 | 議席 | 議員氏名 | 会派・党派 |
|----|----|----------|--------|
| 1 | 6番 | 熊野 忠政 議員 | 前進の会 |
| 2 | 8番 | 阿南 智博 議員 | 忠恕ユニット |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月8日（月）】

質問順位 1 番

議席番号 6番 熊野 忠政 議員（前進の会）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--------------------|--|-----|
| <p>1. 営農振興について</p> | <p>(1) 大野川上流地区畑地かんがい営農振興計画について</p> <p>ア. 令和2年3月に「大野川上流地区畑地かんがい営農振興計画」が策定された。農業算出額の目標を、令和11年度までの10年間で50億円と設定している。その後6年が経過したが、進捗状況を問う。</p> <p>イ. 令和5年度、令和6年度の作付面積、産出額が令和4年度に比べ減少している。原因をどのように分析しているのか。</p> <p>ウ. 大蘇ダムから供給される畑地かんがい用水について、給水栓の開栓率が非常に低い。利用推進をさらに強化すべきではないか。</p> <p>エ. 今後の4年間で約8億円の増額を達成するための新たな施策はあるのか。</p> <p>(2) 農作物の高温障害対策について</p> <p>ア. 気候変動による農作物の高温障害対策事業として、遮光資材等の導入助成が行われているが、助成内容とその効果を伺う。</p> <p>イ. 資材の種類によって、助成対象にならないものがある。対象範囲を広げられないか。</p> <p>(3) 資機材等の高騰対策について</p> <p>ア. 資機材等の高騰で、農業経営は非常に厳しい状況にあり、特に新規就農者の育成に大きく影響すると思われる。助成事業の拡充が必要ではないか。</p> <p>イ. 離農者が所有していた資機材を、新規就農者等に提供する仕組みを作ってはどうか。</p> | |

令和8年第2回（6月）定例会一般質問事項

【6月8日（月）】

質問順位 2 番

議席番号 8番 阿南 智博 議員（忠恕ユニット）

| 発言事項 | 発言の要旨 | 答弁者 |
|--|--|-----|
| <p>1. 竹田市農林業振興計画について</p> <p>2. 行財政改革について</p> <p>3. スポーツツーリズムを踏まえた公共施設の適正管理について</p> | <p>(1) 令和7年度までが計画期間となっていた第2次計画の達成度と、第3次計画の指標設定について</p> <p>ア. 第2次計画は4つの基本方針を設定し取組が進められてきたが、とりわけ新たな農林業の仕組みづくり、魅力ある産品づくりについて、その達成度と相対的な評価を伺う。</p> <p>イ. 米づくりの環境は極めて不透明な状況となっているが、当面の基本姿勢を伺う。</p> <p>ウ. 竹田ブランドの確立について、今後の戦略を伺う。</p> <p>エ. 最近、全伐林を目にすることが増えたが、今後の森林環境を守る取組を伺う。</p> <p>(2) 昨年策定された新たな食料・農業・農村基本計画について</p> <p>ア. 水田政策を令和9年度から見直し、水田活用の直接支払交付金を作物ごとの支援へと転換することとなっているが、具体的な内容は。</p> <p>(1) 飲用水関連業務の窓口一本化について</p> <p>ア. 飲用水改善事業の窓口がわかりづらいと聞く。事業の周知はどのように行っているか。</p> <p>イ. 飲用水の関連業務窓口を一本化できないか。</p> <p>(2) 定年延長に伴う該当職員の処遇について</p> <p>ア. 現在、定年の段階的な引上げ期間中となっている。60歳から定年までの補職及び勤務形態の状況を伺う。</p> <p>イ. 今後の方針を伺う。</p> <p>ウ. 該当者は、行政経験も豊富で高いスキルを備えた人材であり、その経験値を市民のために還元できる処遇を考えてはどうか。</p> <p>(1) 竹田市民球場について</p> <p>ア. 竹田市民球場における県大会等利用状況を伺う。</p> <p>イ. 施設において修理等が必要な箇所が見受けられるが、今後の方針を伺う。</p> <p>ウ. 特にネーミングライツ契約施設は適正管理を意識すべきでは。</p> | |